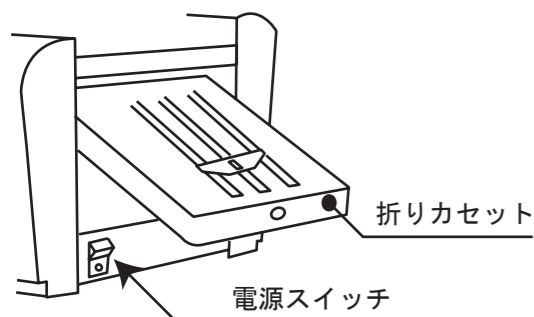


# 操作方法

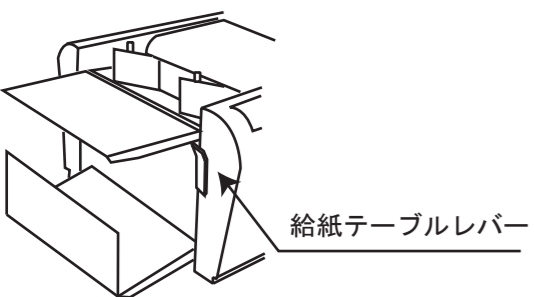
# 紙折機 LF-811N 簡易マニュアル

①電源スイッチを入れます。

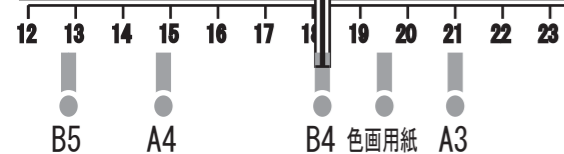
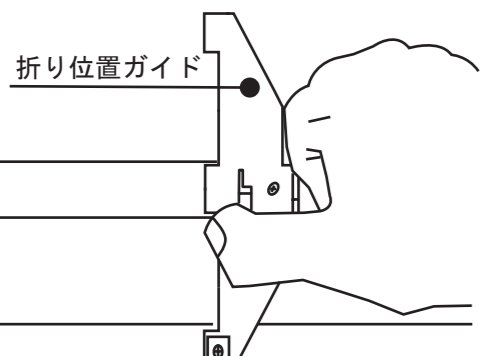


②用紙をセットします。

③給紙テーブルレバーを下げて給紙テーブルを上げます



④折り位置設定  
折りカセットの折り位置ガイドを中央のレバーを摘み、移動させます。



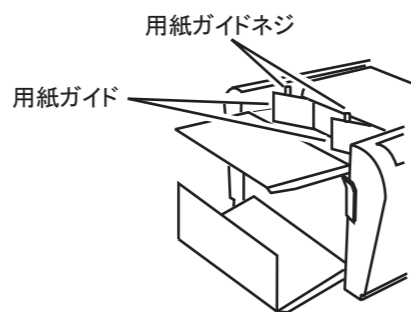
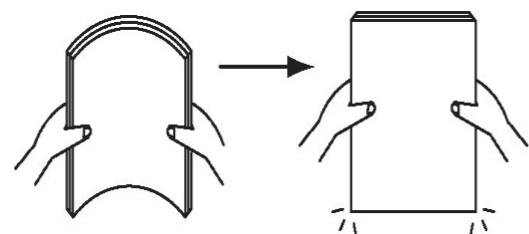
2つ折りする用紙のサイズをB5・A4・B4・色画用紙・A3から選び、ポイント●の中央に折り位置ガイドを移動させます。

※2つ折り以外の折り方は<折りの調整>を参照

⑤〔テスト〕ボタンで折りを確認

⑥テストで折り形がOKであれば、〔スタート〕ボタンで連続折りを始めます。

## <用紙セットのポイント>



## <用紙のさばき方>

- ①用紙の両端をつまみます。
- ②用紙を曲げて空気を入れます。  
(軽く力をゆるめ、曲げてから再度用紙をつまむ)
- ③上下に用紙を揃えます。

・用紙ガイドの間に隙間なく用紙を密着させ、用紙ガイドネジを締めます。

・印刷直後の用紙、カールした用紙は紙づまり、重ね送り、スリップ、用紙のシワの原因になりますので、カールを直し必ず乾いてから使用してください。

## <折りの調整>

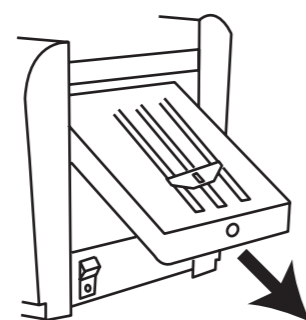
○下図を参考にして、微調整ツマミで折りを調整。

※折り形の図は排紙テーブルに出てきた用紙を操作パネル側から見た状態で表しています。

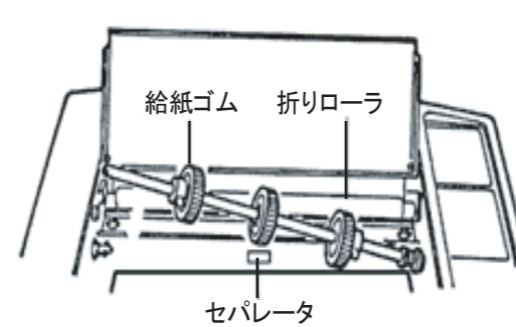
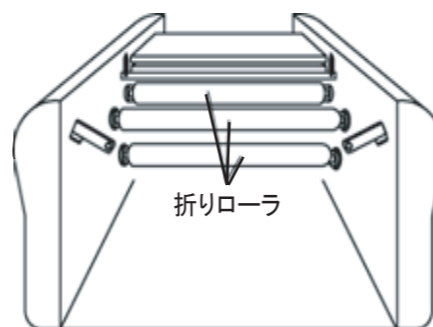
折り形		2つ折り	内3つ折り	外3つ折り	4つ折り	片袖折り
一回目折り	紙折りの状態 (実線の長さを調整します)					
	実線部が長い場合	短◎	短◎	短◎	短◎	短◎
	実線部が短い場合	◎長	◎長	◎長	◎長	◎長
二回目折り	紙折りの状態 (実線の長さを調整します)					
	実線部が長い場合		短◎	短◎	短◎	短◎
	実線部が短い場合		◎長	◎長	◎長	◎長

## <清掃>

折りずれ、しわ、紙詰まりが多発する場合は、ローラ部の清掃をして下さい。  
折りカセットを外し、専用クリーナを布につけ、折りローラ・給紙ゴム・セパレータを清掃します。

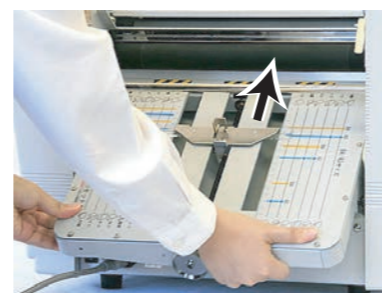


折りカセットの取り外しは後ろを持ち上げるようにして矢印方向に引きます



## <折りカセットの取付け方法>

丸印の突起部分にカセットを滑らすように矢印方向斜め45°くらいの角度で差込みます。

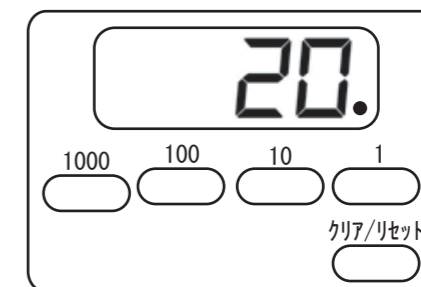


※左のキリトリ線に沿って切り、安全カバーに貼り付けて「簡易マニュアル」としてご使用いただけます。

(両面テープ等で貼り付けてご使用下さい)



## <枚数を指定して折る場合>



※折り枚数を指定したい時は「クリア/リセット」ボタンを押し、カウンタを「0」にしてから「数字キー」で入力して下さい。

図は「10」を2回押して20枚に設定した場合の表示。

修理・その他ご不明な点については、お買い求めの販売店もしくはお客様相談室へご連絡ください。

## お客様相談室

フリーダイヤル  
お問い合わせは平日午前9時より12時、午後1時より5時とさせていただきます。

TEL ☎0120-074416 FAX ☎0120-402539



本 社 〒164-0003 東京都中野区東中野2丁目6番11号